

令和5年度  
(2023年度)

# 事業報告書

及び

# 計算書類・財産目録

社会福祉法人 大阪狭山市社会福祉協議会

# 目 次

## 令和5年度

1. 事業報告書	・ ・ ・	1
2. 計算関係書類		
(1) 法人全体		
・ 資金収支計算書	・ ・ ・	5 4
・ 事業活動計算書	・ ・ ・	5 6
・ 貸借対照表	・ ・ ・	5 8
・ 計算書類に対する注記	・ ・ ・	5 9
(2) 社会福祉事業		
・ 社会福祉事業区分 資金収支内訳表	・ ・ ・	6 2
・ 社会福祉事業区分 事業活動内訳表	・ ・ ・	6 4
・ 社会福祉事業区分 貸借対照表内訳表	・ ・ ・	6 6
(3) 拠点区分計		
・ 社協事業拠点区分 資金収支計算書	・ ・ ・	6 7
・ 社協事業拠点区分 資金収支明細書	・ ・ ・	7 3
・ 社協事業拠点区分 事業活動計算書	・ ・ ・	7 9
・ 社協事業拠点区分 事業活動明細書	・ ・ ・	8 5
・ 社協事業拠点区分 貸借対照表	・ ・ ・	9 0
・ 計算書類に対する注記	・ ・ ・	9 1
・ 高齢者事業拠点区分 資金収支計算書	・ ・ ・	9 3
・ 高齢者事業拠点区分 資金収支明細書	・ ・ ・	9 9
・ 高齢者事業拠点区分 事業活動計算書	・ ・ ・	1 0 5
・ 高齢者事業拠点区分 事業活動明細書	・ ・ ・	1 1 1
・ 高齢者事業拠点区分 貸借対照表	・ ・ ・	1 1 6
・ 計算書類に対する注記	・ ・ ・	1 1 7
・ 障がい者事業拠点区分 資金収支計算書	・ ・ ・	1 1 9
・ 障がい者事業拠点区分 資金収支明細書	・ ・ ・	1 2 5
・ 障がい者事業拠点区分 事業活動計算書	・ ・ ・	1 3 1
・ 障がい者事業拠点区分 事業活動明細書	・ ・ ・	1 3 7
・ 障がい者事業拠点区分 貸借対照表	・ ・ ・	1 4 2
・ 計算書類に対する注記	・ ・ ・	1 4 3
3. 財産目録	・ ・ ・	1 4 5

# 令和5年度 大阪狭山市社会福祉協議会事業報告書

## 1. 会議及び研修等

### 【1】理事会

#### 第1回理事会 令和5年4月1日（土）

1. 副会長及び常務理事の選任について
2. 各種委員会の委員の承認について
3. 処務規程の一部を改正する規程について

#### 第2回理事会 令和5年6月1日（木）

1. 顧問の委嘱について
2. 令和4年度事業報告及び決算並びに監査報告について
3. 理事・監事選任候補者について
4. 評議員選任候補者の推薦について
5. 評議員選任・解任委員会の開催について
6. 定時評議員会の開催について

#### 第3回理事会 令和5年6月17日（土）

1. 会長・副会長及び常務理事の選任について
2. 顧問の委嘱について
3. 各種委員会の委員の承認について

#### 第4回理事会 令和6年3月14日（水）

1. 経理規程の一部を改正する規程について(令和5年4月1日施行)
2. 令和5年度第1次、第2次補正予算について
3. 経理規程の一部を改正する規程について(令和6年4月1日施行)
4. 令和6年度事業計画及び予算書（案）について
5. 評議員会の開催について
6. 役員等賠償責任保険の契約について

### 【2】評議員会

#### 第1回評議員会 令和5年6月17日（土）

1. 議事録署名人について
2. 令和4年度事業報告及び決算並びに監査報告について
3. 役員（理事・監事）の選任について

#### 第2回評議員会 令和6年3月24日（日）

1. 議事録署名人について
2. 経理規程の一部を改正する規程について(令和5年4月1日施行)
3. 令和5年度第1次、第2次補正予算について
4. 経理規程の一部を改正する規程について(令和6年4月1日施行)
5. 令和6年度事業計画及び予算書（案）について

### 【3】評議員選任・解任委員会

第1回評議員選任・解任委員会 令和5年6月1日（木）  
1. 評議員の選任について

### 【4】監査

- (1) 令和4年度監査  
実施日：令和5年5月25日（木）
- (2) 令和5年度中間監査（上半期分）  
実施日：令和5年11月28日（火）

### 【5】諸会議

- (1) 地区福祉委員会委員長連絡会
- (2) 善意銀行運営委員会
- (3) 広報委員会

### 【6】大阪府社協並びにブロック会議参加

- (1) 市町村社協連合会会長・事務局長合同会議
- (2) 河南ブロック社協連絡会

### 【7】研修会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。

## 2. 事業

### 【1】大阪狭山市地域福祉活動計画の推進

大阪狭山市と大阪狭山市社会福祉協議会が一体的に策定した、「第4次大阪狭山市地域福祉計画・大阪狭山市地域福祉活動計画」に基づき、地域福祉の推進を図った。

### 【2】地区福祉委員会活動への支援

社会福祉協議会の内部組織である9つの地区福祉委員会が推進する地域福祉活動について、コロナ禍以前の活動ができるよう支援を行った。

- (1) 地区福祉委員会への支援
- (2) 地区福祉委員会の活動助成
- (3) 地域福祉活動実施計画の策定支援及び計画に基づく活動支援
- (4) 小地域ネットワーク活動新任研修会の実施

### 【3】小地域ネットワーク活動推進事業

地域のひとり暮らし高齢者、障がい者、子育て中の親子など、支援を必要とする人が安心・安全に生活できるよう、各地区福祉委員会が中心となって、地域住民が主体的に実践する、支え合い・助け合い活動の推進を図った。

感染症を配慮し、活動の中止や内容を変更し実施した支部もあった。

#### (1) 見守り訪問活動

住民による住民相互の見守り活動として、おおむね65歳以上のひとり暮らしの人や要援護者に対し、見守りや声かけ、話し相手、簡単な用事の手伝いなど、日常生活の中で出来る範囲の活動を行い、住民同士のつながりを深めた。

地区名	支部名	ボランティア登録数	ひとり暮らし		その他		合計	
			対象者	延訪問数	対象者	延訪問数	対象者	延訪問数
狭山地区	狭山コーポ	7人	10人	692回	0人	0回	10人	692回
半田地区	金剛1丁目	15人	7人	195回	0人	0回	7人	195回
	川向	15人	5人	302回	0人	0回	5人	302回
	ライオンズマンション金剛	14人	9人	224回	4人	171回	13人	395回
茱萸木地区	茱萸木	32人	5人	58回	7人	77回	12人	135回
南第一地区	ニュータウン	20人	25人	200回	0人	0回	25人	200回
南第二地区	大野台1丁目	13人	5人	158回	0人	0回	5人	158回
	大野台3丁目	28人	29人	1,388回	0人	0回	29人	1,388回
	大野台4丁目	19人	43人	1,984回	0人	0回	43人	1,984回
	大野台5・6丁目	27人	39人	1,195回	1人	29回	40人	1,224回
	大野台7丁目北	5人	2人	150回	0人	0回	2人	150回
合計 5地区11支部		195人	179人	6,546回	12人	277回	191人	6,823回
(前年度) 5地区10支部		195人	159人	6,784回	14人	306回	173人	7,090回

#### (2) 食事サービス

おおむね65歳以上のひとり暮らしの人及び70歳以上の高齢者のみの世帯、重度の心身障がい者世帯に対し、配食や会食会を通して地域住民同士の交流、食生活の維持向上を支援した。

感染症を配慮して、会食から配食に切り替えて実施した支部もあった。

	地区名	支部名	開始時期	対象者(登録)数	実施回数	延べ食数
配 食	半田地区	金剛1丁目	H11/12	32人	12回	340食
	南第一地区	府宮北	R 5 / 5	36人	8回	244食
	南第二地区	大野台3丁目	H28 / 4	12人	12回	200食
		大野台4丁目	H28 / 4	41人	1回	41食
	小計①	3地区4支部		121人	33回	825食
(前年度)	3地区3支部		189人	27回	1,023食	

	地区名	支部名	開始時期	対象者(登録)数	実施回数	延べ食数
会 食	東地区	東野大鳥池	H25 / 5	19人	22回	359食
	狭山地区	狭山コーポ	H 8 / 7	22人	感染症を配慮し中止	
		狭山中	R 5 / 6	52人	2回	42食
		狭山西	R 5 / 5	49人	1回	16食
		遊園ハイツ	H25 / 6	25人	20回	426食
	西池地区	自由丘	H10 / 9	35人	12回	304食
		池尻	H13 / 2	36人	11回	225食
		南海狭山住宅	H30 / 11	102人	3回	68食
	西地区	藤和さやまハイタウン	H29 / 9	65人	2回	52食
	半田地区	南海金剛住宅	H12 / 6	25人	感染症を配慮し中止	
		川向	H14 / 4	48人	6回	151食
	茱萸木地区	茱萸木	H12 / 3	41人	1回	29食
	南第一地区	ニュータウン	H12 / 6	34人	7回	227食
	南第二地区	大野台3丁目	H28 / 4	54人	10回	229食
		大野台4丁目	H9 / 10	37人	9回	300食

会 食	南第二地区	大野台5・6丁目	H15/3	43人	6回	182食
		大野台7丁目	H15/1	25人	11回	150食
	南第三地区	府営南	H11/12	36人	12回	381食
		公団	H11/12	33人	12回	222食
	小計②	9地区19支部		781人	147回	3,363食
	(前年度)	8地区12支部		668人	97回	1,812食
合計(①+②)	9地区21支部		※893人	180回	4,188食	
	(前年度) 6地区10支部		※692人	124回	2,835食	

※配食・会食の重複者を除く

### (3) サロン活動

人と人とのつながりの希薄化が言われる中、高齢者や障がい者の方、子育て中の親子などが、地域での孤立を防ぎ、コミュニケーションを築くために、地区集会所など身近な場所で地域住民やボランティアと協働で交流できる居場所を提供した。

感染症を配慮し、活動の中止や内容を変更し実施した支部もあった。

#### <高齢者サロン>

地区名	支部名	実施回数	延参加人数	延ボランティア数	主な内容
東地区	東野	10回	106人	70人	喫茶、クリスマス会
	東池尻	23回	526人	134人	脳トレ、近況ニュース、輪投げ歌+体操、餅つき体験
	東野 大鳥池	52回	402人	70人	なつかしの歌の合唱、脳トレ、ストレッチ、喫茶ちょべりば
狭山地区	狭山コーポ	0回	0人	0人	感染症を配慮し中止
	狭山中	3回	49人	12人	マジック、茶話会
	狭山西	3回	44人	12人	茶話会、マジック
	遊園ハイツ	22回	472人	170人	茶話会、ボッチャ、手芸、健康体操
	レークハイツ	15回	131人	29人	茶話会、食事会、水鉄砲、ゲーム会
	グラントハイツ	15回	193人	30人	お花見、いきいき百歳体操、茶話会、ちぎり絵、脳トレ

西池地区	自由丘	12回	304人	66人	馬頭琴、リコーダー、オカリナ、チェロ、よさこい、黒山警察の講話、のぶ8（演奏）
	池尻	11回	225人	140人	輪投げ大会、ストレッチ体操、DVD鑑賞会、床ビンゴゲーム
	南海狭山住宅	106回	978人	315人	いきいき百歳体操、トレーニング機器を使った運動、茶話会
西地区	口大野	8回	259人	48人	食事会、カラオケ、ゲーム
	下今熊狭山台	7回	44人	30人	茶話会、病院について勉強会、携帯・スマホの使い方講座、牛乳パックの椅子づくり、クリスマス会、食事会
	藤和さやまハイタウン	3回	69人	17人	桜の鑑賞会と食事会、高齢者との会食茶話会
半田地区	南海金剛住宅	16回	441人	138人	バーベキュー大会、「男厨」喫茶、年末茶話会
	金剛1丁目	23回	154人	82人	詩吟の会、いきいき健康体操
	川向	24回	374人	78人	グラウンドゴルフ大会、地区交流茶話会(朝市)、カラオケ同好会
	北村	12回	470人	132人	いきいき百歳体操、カラオケ、歯科衛生士の講話
	前田	22回	176人	66人	健康体操、茶話会
	浦之庄	75回	715人	150人	グラウンドゴルフ
	ライオンズマンション金剛	12回	117人	29人	茶話会、腹話術講演、健康体操、ハンドベル演奏会、ビンゴ大会
	アドリーム金剛	4回	21人	8人	茶話会
茱萸木地区	茱萸木	10回	156人	80人	指運動、みんなで歌おう、お茶会、詩吟、バルーンアート、日本舞踊
南第一地区	ニュータウン	27回	796人	126人	歌声サロン、すずかけ喫茶、いきいき百歳体操
	桜ヶ丘	4回	61人	19人	茶話会、スマホ教室、介護保険勉強会
	ガーデンハイム	7回	54人	49人	モーニングカフェ、ランチカフェ、コーヒータイム
	府営北	0回	0人	0人	感染症を配慮し中止
	ティオフェルティ	12回	121人	24人	ゆるりカフェ(茶話会、情報交換)

南第二 地区	大野台 1丁目	24回	121人	118人	みなくるカフェ、ガーデニング、ふれあい麻雀、歌声サロン
	大野台 3丁目	24回	681人	240人	みんなで歌おう、手品鑑賞、フレイル予防、クリスマス会、お正月遊び
	大野台 4丁目	47回	668人	104人	囲碁、麻雀、パソコン、もちつき、クリスマス会
	大野台 5・6丁目	14回	492人	73人	いきいき百歳体操、ハーモニカ演奏、子ども夏祭り、寄せ植え、防犯の勉強会
	大野台 7丁目	10回	117人	20人	映画会、バザー、清掃活動、卓球慰労会、ふれあいバーベキュー
	大野	178回	1,447人	329人	グラウンドゴルフ、親子交流会、クリスマス会、カラオケ、ゲートボール、清掃後の茶話会
南第三 地区	府営南	11回	348人	160人	南京玉すだれ、詩吟、マジック、ビンゴ大会、認知症の講話、日本民謡、大正琴
	公団	12回	222人	183人	大道芸、七夕祭り、オカリナ、座って行う運動会、誕生日お祝い会、コーヒー喫茶
	グリーンコーポ 狭山	5回	59人	32人	茶話会、七夕の笹飾り作り、出前勉強会、お花見
計 9地区37支部		863回	11,613人	3,383人	
(前年度)9地区33支部		914回	10,249人	2,781人	

<子育てサロン>

地区名	支部名	実施回数	延参加人数	延ボランティア数	主 な 内 容
東地区	東野	11回	160人	17人	リトミック、運動遊び、子育て講座、リス園遠足、クリスマス会、おもちゃ遊び、室内遊び
	東池尻	11回	257人	21人	絵本ライブ、水遊び、おもちゃ遊び、ハロウィン、子育て講座、クリスマス会、思い出制作
狭山地区	狭山西	11回	116人	14人	交流会、絵本ライブ、リトミック、工作、水遊び、ハロウィン、クリスマス会
西池地区	自由丘	15回	114人	8人	親子ヨガ、運動遊び、手遊び、リトミック、水遊び、スクラップブックング、運動会
	池尻	37回	179人	37人	本貸し出し、読み聞かせ、本の相談、手裏剣づくり、スライムづくり、コラージュ、クリスマス会
半田地区	川向	12回	163人	6人	七夕制作、リス園遠足、クリスマス会、パステルアート、歌遊び、リトミック、ハロウィン撮影会

半田地区	ライオンズ マンション金剛	12回	96人	29人	絵の具遊び、むかし遊び、マグネットづくり、ハロウィン、クリスマス会、鬼の帽子作り、運動遊び
計 4地区7支部		109回	1,085人	132人	
(前年度)4地区6支部		97回	1,017人	118人	

#### (4) グループ援助活動支援

小地域ネットワーク活動のグループ援助活動(ふれあい会食サービス、サロン活動)を安心して行ってもらえるよう行事保険に加入した。

#### <高齢者サロン>

地区名	支部名	回数(回)	人数(人)	地区名	支部名	回数(回)	人数(人)
東地区	東野	8	320	半田地区	金剛1丁目	24	480
	東池尻	24	770		川向	6	180
	東野大鳥池	76	1,540		前田	2	40
狭山地区	狭山中	3	61		浦之庄	89	1,780
	狭山西	3	61	ライオンズマンション金剛	12	300	
	遊園ハイツ	22	505	アドリーム金剛	3	60	
	レークハイツ	12	240	菜黄木地区	菜黄木	10	300
西池地区	自由丘	11	338	南第一地区	ガーデンハイム	7	270
	池尻	10	359		ディオフェルティ	12	240
	南海狭山住宅	54	1,080	南第二地区	大野台1丁目	22	440
西地区	口大野	1	25		大野台4丁目	62	1,450
	下今熊狭山台	7	140		大野台5・6丁目	10	330
	藤和さやまハイタウン	2	55		大野台7丁目	53	1,060
				南第三地区	府営南	12	585
					公団	12	410
				計	9地区28支部	569	13,419

※(前年度) 9地区25支部 481回 10,740人

<子育てサロン>

地区名	支 部 名	回数 (回)	人数 (人)	地区名	支 部 名	回数 (回)	数 (人)
東地区	東野	11	220	西池地区	自由丘	16	320
	東池尻	11	220		池尻	3	60
狭山地区	狭山西	11	440	半田地区	川向	12	380
					ライオンズマンション金剛	12	240
				計	4地区7支部	76	1,880

※(前年度) 4地区6支部 51回 1,440人

(5) ボランティア活動支援

小地域ネットワーク活動に携わるボランティアに対し、ボランティア保険に加入した。

<高齢者サロン>

(単位：人)

地 区 名	支 部 名	ボランティア数	地 区 名	支 部 名	ボランティア数
東地区	東野	16	半田地区	浦之庄	2
	東池尻	18		ライオンズマンション金剛	17
	東野大鳥池	8		アドリーム金剛	3
狭山地区	狭山コーポ	12	茱萸木地区	茱萸木	32
	狭山中	2	南第一地区	ニュータウン	20
	狭山西	9		桜ヶ丘	4
	遊園ハイツ	9		ガーデンハイム	9
	レークハイツ	7		府営北	17
	グランドハイツ	2		ディオフェルティ	2
西池地区	自由丘	7		南第二地区	大野台1丁目
	池尻	19	大野台3丁目		42
	南海狭山住宅	24	大野台4丁目		33
西地区	口大野	7	大野台5・6丁目		27
	下今熊狭山台	11	大野台7丁目		9
	藤和さやまハイタウン	24	大野台7丁目北		5
半田地区	南海金剛住宅	22	大野		12
	金剛1丁目	15	南第三地区	府営南	10
	川向	52		公団	24
	北村	6		グリーンコーポ狭山	8
	前田	5	計	9地区39支部	565

※(前年度) 9地区38支部 518人

<子育てサロン>

(単位：人)

地区名	支部名	ボランティア数
狭山地区	狭山西	1
西池地区	池尻	2
半田地区	川向	15
計 3地区3支部		18

※(前年度) 3地区3支部 16人

(6) 目くばり気くばり思いやり運動

ひとり暮らし、ねたきり高齢者を対象に、老人クラブのメンバーによる友愛訪問として声かけ等の安否確認を行った。

対象者数：ひとり暮らし、ねたきり高齢者 154人  
 ※(前年度) 232人

友愛訪問者数：12単位老人クラブ 147人  
 ※(前年度) 13単位老人クラブ 164人

(単位：回)

項目	声かけ	不在	話し相手	軽微な用件	計
ひとり暮らしの人	3,689	333	2,405	858	7,285
ねたきりの人	0	0	0	0	0
計	3,689	333	2,405	858	7,285
(前年度)	3,954	228	1,766	501	6,449

【4】権利擁護支援センター事業(日常生活自立支援事業)

認知症、知的障がい、精神障がい等により、判断能力にハンディキャップのある人に、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行うことにより、住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう支援した。

区分	対象				計
	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	
利用者数(人)	4 (2)	7 (8)	21 (22)	0 (0)	32 (32)
新規契約件数(件)	2 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	3 (1)
終了件数(件)	0 (2)	1 (1)	2 (0)	0 (0)	3 (3)
相談援助件数(件)	141 (72)	157 (170)	717 (779)	0 (1)	1,015 (1,022)
利用者活動件数(件)	103 (29)	155 (161)	555 (535)	0 (0)	813 (725)
契約前活動件数(件)	8 (7)	0 (0)	15 (4)	0 (0)	23 (11)

※( )内は前年度実績

## 【5】成年後見制度利用促進事業

認知症、知的、精神障がい等により判断能力が十分でない方が、成年後見制度を円滑に利用できるよう支援を行うとともに、本人の権利を尊重し擁護することにより地域で安心して暮らせるよう成年後見制度の利用促進を図った。

また、大阪狭山市と合同で作成した成年後見制度利用検討の手引きの配布や、三士会（大阪弁護士会・大阪司法書士会・大阪社会福祉士会）からの助言体制を整備し、関係機関や専門職との連携体制の構築を進めた。

### (1) 相談支援

来所、訪問、電話などの手段により本人、家族、ケアマネジャー、地域包括支援センター、医療機関を中心に新規相談があり、サービス事業所職員、専門職の協力を得て、相談支援を行った。

○対象者数：64人 / 延べ相談対応件数：722件

	新規	継続	計	前年度
法定後見相談	34	18	52	25
うち) 審判確定者	1	10	11	4
うち) 申立書類提出済み	0	0	0	2
うち) 申立中止	2	4	6	-
うち) 申立準備中	5	1	6	10
うち) 相談のみ	26	3	29	9
任意後見相談	3	3	6	8
うち) 任意後見契約締結数	0	0	0	0
うち) 契約中止	0	2	2	-
うち) 契約準備中	1	1	2	3
うち) 相談のみ	2	0	2	5
その他の相談	6	-	6	-
合計	43	21	64	33

### (2) 専門相談

専門職からの助言体制を整備するため、三士会（大阪弁護士会・大阪司法書士会・大阪社会福祉士会）へ専門相談を依頼し、新規ケース等に対して適切な申立方法や、制度利用時の課題や留意点などについて、専門職から助言を得た上で相談支援を行った。

○面談相談：12回（26件） / 電話相談：3回（3件）

### (3) 会議関係

円滑な制度利用及び後見人の支援を図るため、大阪狭山市と協議を行うとともに、地域包括支援センター、基幹相談支援センターなどの関係機関と個別支援にかかる連携を行うなど、相談支援体制の構築を進めた。

また、市民後見人への支援として、大阪狭山市と協力し、受任案件における後見活動のサポートや、市民後見人バンク登録者への研修会を実施した。

その他、大阪府等が開催する連絡会などの会議に参加し、他市町村と情報共有を行った。

○開催回数：26回 / 延べ参加者数：152人

### (4) 普及・啓発活動

成年後見制度に関する広報啓発のため、公共施設、民生委員児童委員協議会、介護保険事業所、相談支援事業所、金融機関等に権利擁護支援センター紹介チラシを配布した。

また、支援者の制度理解を深めるために、大阪狭山市と合同で作成した「成年後見制度利用検討の手引き」をケアマネや相談支援専門員等への配布や、制度理解を広めるため、成年後見制度に関する研修会を支援者向けに開催した。

#### ○支援者向け成年後見制度利用促進研修会

日 時：令和6年3月19日（火）午後2時～3時30分  
場 所：大阪狭山市コミュニティセンター 4階 大会議室  
対 象：大阪狭山市内の関係機関の職員  
[居宅介護支援事業所、相談支援事業所、入所施設（特養、老健、グループホーム）、医療機関など]  
内 容：支援者が制度利用を考える際の注意点  
補助人・保佐人・後見人の支援内容の違い  
後見人等の支援範囲（できること・できないこと）  
講 師：リーガルサポートおおさか  
司法書士 森津 周一 氏  
参 加 者：39人

## 【6】ヒューマン・ケア事業

日常生活上、家事等に支障をきたす高齢者や障がい者(児)、父子、母子世帯等に有料で協力会員を派遣し、在宅福祉の向上を図った。

利用会員登録者数： 77人 ※(前年度 80人)

協力会員登録者数： 43人 ※(前年度 49人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
派遣回数(回)	59	56	52	58	45	54
派遣時間(時間)	64.5	66.5	62	62.5	51.5	60

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
派遣回数(回)	63	45	57	51	55	54	649	683
派遣時間(時間)	74	58	71.5	67	62	74	773.5	873

## 【7】福祉協力校事業

市内の小・中・高等学校を福祉協力校に指定し、福祉教育・学習機会の提供と体験交流活動を推進した。また、福祉の心を育む機会を拡充するとともに、学童、生徒を通じて家庭及び地域社会に福祉に関する啓発を図った。

指定校	主な事業内容
北小学校	1. 学校美化活動 2. 栽培緑化活動 3. 手話体験 4. 車いす体験 5. アイマスク体験 6. 募金活動(赤い羽根) 7. 児童会行事北小子どもまつり 8. あいさつ運動
東小学校	1. あいさつ運動 2. 縦割り班活動 3. アルミ缶の回収事業 4. 花いっぱい運動 5. 募金活動(赤い羽根) 6. 校内および地域清掃 7. 幼稚園との交流事業 8. 地域の方との交流事業
西小学校	1. 全校おはなしの会 2. 募金活動(赤い羽根) 3. 縦割り交流(わくわくまつり) 4. 支援学級交流会 5. あいさつ運動 6. PTA美化活動 7. PTAあいさつ運動 8. 昔遊び学習(1年生) 9. 地域の方と奉仕作業(6年) 9. 車いす体験・アイマスク体験(5年)
南第一小学校	1. 募金活動(赤い羽根) 2. 縦割り学習 3. アイマスク体験(4年) 4. 環境美化作業 5. 異学年交流 6. 認知症声かけ訓練(6年) 7. 栽培活動 8. 環境学習(5,6年生) 9. 支援学級担任による啓発授業
南第二小学校	1. 募金活動(赤い羽根) 2. 校内クリーン作戦 3. 人権学習会 4. 米づくり 5. 高齢者施設との交流 6. 平和学習 7. 車いす・アイマスク体験 8. 点字学習 9. アダブテッドスポーツ体験講習会 10. 能登半島地震募金活動 11. あいさつ運動 12. ぶどうづくり学習 13. こども園との交流
南第三小学校	1. 募金活動(赤い羽根) 2. なかよし交流 3. 障がい者理解教育 4. 学校美化活動 5. 学校周り清掃活動(PTA、地域) 6. こども園との交流 7. ふれあい広場(グランドゴルフ大会) 8. こども園との交流 9. 人権の花運動(1年生) 10. 地域の方々と交流 11. 支援学級との交流 12. 命の授業 13. LGBTQ講話(5・6年生) 14. 車いすバスケ体験(6年生) 15. 古紙、プルトップ、インクカートリッジのリサイクル活動 16. 三小フレンドパーク
第七小学校	1. 募金活動(緑の羽根、赤い羽根) 2. 環境整備・栽培活動 3. 車椅子体験 4. 絵本の読み聞かせ 5. 地域清掃「みんなの地域清掃」 6. 田植え体験・稲刈り体験 7. 芋ほり・もちつき体験 8. 保育園児学校見学
南中学校	1. 募金活動(赤い羽根) 2. 学校周辺の清掃活動 3. 手話体験学習 4. 命の授業講演会 5. 防災学習講演会 6. 平和学習 7. 部落問題学習 8. 国際理解学習 9. 障がい者理解学習 10. 職業講話

狭山中学校	1. 人権学習の充実、人権作文への応募 2. 防災学習 3. 募金活動（赤い羽根） 4. ともに学びともに育つ教育（障がい者理解体験学習） 5. 平和学習 6. 校区内清掃活動 7. 近隣地域とのふれあい活動へ参加（あいさつ運動・交通安全指導など） 8. ジェンダー平等講習 9. 命の事業 10. 部落問題学習 11. 多文化共生学習 12. SNS講習会 13. がん教育 14. 職業講話
第三中学校	1. 募金活動（赤い羽根） 2. 地域・校内清掃 3. 障がい理解学習 4. 安全安心講習 5. 花いっぱい運動 6. 情報モラル学習 7. ジェンダー平等学習 8. 部落問題学習 9. 多文化共生学習
狭山高等学校	1. 募金活動（赤い羽根） 2. 挨拶運動 3. 狭山池クリーンアクションへの参加 4. 障がい者理解授業（車イス体験） 5. 植栽活動 6. 人権学習 7. 能登半島地震募金活動

※(前年度) 7小学校、3中学校、1高等学校

## 【8】ひとり暮らし老人会食会

ひとり暮らし高齢者の閉じこもり等を防ぎ、生活に変化をもたせるとともに、健康増進と食生活の改善、向上を図った。

また、食事前に口腔体操にてオーラルフレイルを予防したり、簡単な体操を行ったりして運動不足の解消に取り組んだ。

実施日：月2回（第1班…概ね第1火曜日、第2班…概ね第3火曜日）  
 実施回数：会食23回（第1班11回、第2班11回、合同会食会1回）  
 対象者：市内に身寄りのない65歳以上のひとり暮らしの人  
 登録者数：47名（令和6年3月31日現在）  
 食数：延べ557食

※(前年度) 配食年4回・会食年17回、登録者53名、延べ409食

## 【9】救急医療情報キット配布事業

ひとり暮らし高齢者や障がい者等の自宅での不慮の事故など、緊急時に迅速な救命活動に資するため「大阪狭山救急医療情報キット」を製作・配布し、高齢者や障がい者等の安心と安全の確保に努めた。

(単位：個)

配布対象者	昨年度までの配布数	今年度配布数	配布数
65歳以上のひとり暮らしの世帯	1,871	103	1,974
65歳以上の高齢者だけの世帯	270	11	281
日中や夜間に65歳以上でひとりになる世帯	55	2	57

日中や夜間に65歳以上の 高齢者だけになる世帯	47	2	49
障がい者手帳を保持している人	69	3	72
特定疾患医療受給者証を 保持している人	14	0	14
その他	3	0	3
計	2,329	121	2,450

## 【10】 ボランティアセンター事業

ボランティア活動に関する相談や情報提供、登録、仲介、連絡調整を行うとともに、ボランティアの人材育成や活動を支援し、ボランティア活動の推進を図った。

### (1) 登録者数

31グループ 461人  
個人登録 46人

※(前年度) 35グループ 558人 個人登録 44人

### (2) 啓発宣伝

おおさかさやまボランティアだよりの発行 (年3回発行・全戸配布)

第108号：6月1日、第109号：10月1日、第110号：2月1日

※(前年度) 3回発行

### (3) 会議

- ①ボランティアグループ連絡会 総会
- ②ボランティアグループ連絡会 定例会 (毎月第3金曜日)
- ③ボランティアグループ連絡会 役員会

### (4) 需給調整

#### ①相談受付内容別件数

(単位：件)

相談先 内容	件数	個人	ボランティア グループ	団体 その他
活動希望	6	5	0	1
派遣依頼	65	2	0	63
会場・機材の貸し出し	30	0	30	0
情報提供など	101	25	54	22
計	202	32	84	86
(前年度)	250	53	117	80

②派遣依頼内容別件数

(単位：件)

依頼内容	依 頼 先							計
	社協	行政 公的機関	学校	施設 病院	団体 関係機関	自治会 住民組織	個人	
イベント・行事協力	4	0	0	16	3	30	0	53
一時保育	0	0	0	0	0	0	0	0
外出介助・傾聴・自助具	0	0	0	4	0	0	0	4
点訳・朗読・手話通訳	0	0	6	0	0	0	1	7
その他(講師等)	1	0	0	0	0	0	0	1
計	5	0	6	20	3	30	1	65
(前年度)	3	3	11	8	7	12	6	50

(5) ボランティア養成講座

市民のボランティア活動への関心を高めるため、各種講座を開催し、ボランティア活動へ参加するきっかけをつくり、また、ボランティアの人材発掘と育成を行った。

①ボランティアジュニアスクール

市内の小学生を対象に、子どもたちが自主的、主体的なボランティア活動に取り組めるよう、グループ活動を通してコミュニケーション能力の向上と、ボランティア活動の楽しさを感じてもらうことを目的に実施した。

○夏のボランティアジュニアスクール

実施日：令和5年8月20日（日）

場 所：福祉センターさつき荘

内 容：小学生対象のボランティア体験講座。さやま荘、福祉やボランティアについて学ぶ、ボランティア体験講座を行った。

参加者：7人

協力ボランティア：32人

○春のボランティアジュニアスクール

実施日：令和6年3月18日（祝・水）

場 所：福祉センターさやま荘・さつき荘

内 容：小学生対象のボランティア体験講座。災害についての知識や福祉、ボランティア活動について学ぶ、ボランティア体験講座を行った。

参加者：11人

協力ボランティア：47人

## ②手話ボランティア養成講座

手話ボランティア活動に必要な知識、技術を習得するとともに、聴覚障がい者への理解、認識を深めた。

実施日：令和5年4月4日～令和6年2月6日  
毎週火曜日（全42回）

講師：片桐 多鶴子 氏

補助講師：前田 育子 氏・子安 由美 氏

場所：公民館 講習室

受講者：15人

※(前年度) 受講者10人

## ③手話奉仕員レベルアップ講座

手話通訳奉仕員養成講座修了程度の知識、技術の習得者に対して、さらなる基礎力の強化を図る講座を実施し、受講者のスキルアップと地域の聴覚障がい者等の自立と社会参加を促進した。

実施日：令和5年8月23日～10月25日  
毎週水曜日（全10回）

講師：中塚 邦雄 氏

場所：公民館 集会室1

受講者：13人

※(前年度) 受講者10人

## (6) ボランティア活動支援助成

大阪狭山市ボランティアセンターに所属するボランティアグループに対し、ボランティア活動の振興と啓発、育成を目的に助成した。

①ボランティア保険金の助成 420人（前年度 579人）

②ボランティア活動の助成 6件（前年度 6件）

## (7) 出前福祉体験事業

大阪狭山市における福祉教育を推進するために、主に小・中・高校生を対象に、体験や交流を通じて社会福祉に対する理解を深めるための各種福祉教育プログラムを実施した。

(単位：件)

内 容	実施先				
	件 数	小学校	中学校	高等学校	その他
車いす体験	3	3	0	0	0
アイマスク体験	4	4	0	0	0
手話体験	6	1	1	4	0
点字体験	0	0	0	0	0
福祉講話	0	0	0	0	0
計	13	8	1	4	0
(前年度)	22	10	2	8	2

## 【11】 災害ボランティアネット運営事業

大阪狭山市内の各種団体、NPO、企業、学校等を構成団体に、平常時から顔の見える関係づくりを目的に、防災減災に関する取り組みを行った。

### (1) 会 議

#### ①検討会議

実施日：令和6年3月13日(水)

場 所：市役所南館 市民活動支援センター

内 容：令和6年能登半島地震の支援について

参加者：4人

### (2) 事業

#### ①石川県志賀町へ軽トラックの貸し出し

実施日：令和6年2月2日(金)

内 容：石川県志賀町社会福祉協議会の要請による貸し出し

#### ②災害ボランティアワゴンへの案内

(※実施日：4月5日～6日 行先：石川県志賀町)

期 間：令和6年3月18日(月)～令和6年3月27日(水)

内 容：個人ボランティアに案内の発送

対象者：49人

#### ③個人ボランティア登録

登録者数：52人(令和6年3月31日現在)

(前年度)47人

## 【12】 社協“collect(コレクト)”事業

身近なボランティア活動、限りある資源のリサイクル活動として、使用済み携帯電話や入れ歯、小型家電、インクカートリッジ、書き損じハガキ、各種プリペイドカード(テレホンカード等)の回収を行ってきたが、これまでの取り組みにより、市民の理解が進み、リサイクル活動も定着しつつあること、また、メーカー等による自主回収も普及していることから、令和5年9月30日をもって事業を終了した。

## 【13】 広報啓発事業

### (1) 大阪狭山市社協だよりの発行(年3回発行・全戸配布)

第108号：6月1日、第109号：10月1日、第110号：2月1日

### (2) ホームページ、Facebook、YouTubeの運用

実施事業の詳細を伝えられるように、各種事業や地区福祉委員会活動をFacebookへ投稿するとともに、ホームページの内容について適時見直しを行うなど、常に最新の情報を提供するように努めた。また、YouTubeを活用し、動画による情報の提供に取り組んだ。

## 【14】生活福祉資金貸付事業（大阪府生活福祉資金）

低所得者、障がい者、高齢者世帯及び失業や減収等を原因として生計の維持が困難となった世帯に対し、一時的な経済的支援として低利で必要な資金の貸付、生活再建のための継続的な相談支援を行い、世帯の自立を支援した。

### ①資金種類別相談件数

（単位：件）

資金種類	電話相談	窓口相談	計	前年度
福祉資金	48	44	92	64
緊急小口資金	16	7	23	11
総合支援資金	4	0	4	0
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0
不動産担保型福祉資金	1	0	1	1
計	69	51	120	76

### ②資金種類別貸付件数および貸付額

資金種類	件数	貸付額	備考
福祉資金	5件	4,417,000円	福祉資金3件
緊急小口資金	1件	100,000円	
総合支援資金	0件	0円	
臨時特例つなぎ資金	0件	0円	
計	6件	4,517,000円	

※(前年度)

- ・福祉資金 10件 4,213,000円
- ・小口生活資金 1件 100,000円
- ・総合支援資金 0件 0円
- ・臨時特例つなぎ資金 0件 0円

新型コロナウイルス特例貸付

- ・緊急小口資金 38件 7,250,000円
- ・総合支援資金 32件 18,600,000円
- ・総合支援資金再貸付 0件 0円

合計 81件 30,163,000円

- ・要保護向け不動産担保型生活福祉資金 0件

## 【15】緊急小口資金等の特例貸付の借受人へのフォローアップ支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例貸付を借り受けた世帯で、生活に困窮しており、支援が必要と考えられる世帯に対し、生活再建や見守り、償還猶予手続き等のフォローアップ支援を行った。

### ①相談件数

(単位：延べ件数)

区分	利用者区分	電話	面談	訪問	その他 (メール等)	計
個々の状況に配慮した償還猶予等の案内	・免除対象外 ・未応答	292	57	8	20	377
訪問等のアトリーチによる生活再建に向けた支援	・免除対象外 ・未応答	207	36	30	15	288
借受人へのフォローアップ支援	・免除済み	88	38	13	13	152
免除申請に未応答借受人のフォローアップ支援	・未応答	125	33	27	13	198
計		712	164	78	61	1,015

### ②申請件数

区分	件数
償還猶予申請	16件
少額返済申請	1件
免除申請	0件
計	17件

### ③生活応援品のお渡しと相談会の開催

中央共同募金会 赤い羽根ポスト・コロナ（新型感染症）社会に向けた福祉活動応援キャンペーン「生活困窮者への緊急支援活動助成」を活用し、生活にお困りの方(生活困窮者)を対象とした生活応援品のお渡しとともに相談会を開催した。

日時：令和6年3月8日（金）18:00～20:00

令和6年3月9日（土）10:00～12:00

場所：福祉センター「さつき荘」

内容：・生活応援品（食料品と日用品）の無料配布

・生活や仕事に関する相談

・コロナ特例貸付の返済猶予・免除に関する手続きの案内

応援品配布数：44世帯分

## 【16】 各種団体への支援

民生委員・児童委員協議会及び関係福祉団体等の事務局として、団体運営業務の円滑化を図るとともに、関係福祉団体の活動を支援した。

### [関係福祉団体]

- ・老人クラブ連合会
- ・身体障害者福祉協議会
- ・母子寡婦福祉会
- ・遺族会
- ・知的障がい者(児)あんずの会（本人会）
- ・介護者家族の会「たまゆら」

### [その他関係団体]

- ・社会福祉施設連絡会
- ・日中活動事業所連絡会

## 【17】 福祉と人権に関する課題への取り組み

人権意識の向上を図るため、福祉と人権の諸問題について、大阪狭山市人権協会や大阪狭山市企業人権協議会の他、関係団体主催の研修会や講演会（オンライン）に参加した。

### 3. 受託事業

#### 【1】心配ごと相談事業

市民の日常生活における身近な悩みごとや相談に応じ、必要により社会資源を効果的に活用し、適切な助言及び指導、関係機関につなぐなど社会福祉の増進を図った。

相談員：25人

相談日時：第一・第三月曜日（開催延日数24日） 午後1時～4時

相談延件数：0件（昨年度0人）

相談利用者延数	0人																			
相談事項	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	合計
	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・保健・衛生	医療	人権・法律	財産	事故	児童福祉・母子保健	教育・青少年	障がい者（児）福祉	母子福祉・父子福祉	老人福祉	苦情	その他	
相談延件数(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(前年度)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

#### ○心配ごと相談員研修会

実施日：令和6年3月22日（金）

場所：福祉センターさやま荘 多目的室

内容：福祉資金貸付事業、緊急小口資金の特例貸付借受人へのフォローアップ支援について、事例検討会

参加者：15人

#### 【2】寝具乾燥サービス事業

自宅での寝具の乾燥が困難な要介護高齢者や障がい者に対し、寝具の乾燥サービスを行い、健康保持と生活環境の向上を図った。

	利用者数 (人)	枚数 (枚)	(内 訳)	
			布団丸洗い乾燥	毛布丸洗い乾燥
上期	6	36	18	18
下期	5	28	16	12
計	11	64	34	30

※(前年度) 利用者13人 78枚

### 【3】訪問理美容サービス事業

理美容店の利用が困難な要介護高齢者や重度の心身障がい者に対し、訪問による理美容サービスを行い、保健衛生の向上とその家族の介護の軽減を図った。

登録者数：22人

(単位：人)

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	計
利用者数	16	16	16	16	64

※(前年度) 登録者22人 延べ利用者55人

### 【4】福祉機器貸出事業

市民に対し、車いす等の介護機器の貸し出しを行い、家族の介護の軽減など在宅福祉の推進を図った。

また、車いす体験等に取り組んでいる市内の学校や地区福祉委員会等へ貸し出しを行い、福祉教育の推進及び福祉委員の資質向上等を図った。

対象		福祉機器		その他	
		車いす (台)	ベッド (台)		
個人	高齢者	43	0		
	身体障がい者	8	0		
	その他(ケガ等)	42	0		
団体	学校(3校)	43	0	アイマスク	… 35個
	地区福祉委員会	19	0	アイマスク	… 10個
				白杖	… 3本
			シニア体験装具	… 2セット	
			点字板	… 10個	
	その他	65	0	シニア体験装具	… 2セット
計		220	0	アイマスク	… 45個
				白杖	… 3本
				シニア体験装具	… 4セット
				点字板	… 10個

※(前年度)

- ・車いす 176台 ・アイマスク 25個 ・白杖 3本 ・点字板 0枚
- ・シニア体験装具 9セット ・車いす模擬体験コース 1セット

## 【5】コミュニティソーシャルワーカー設置事業

(狭山中学校区・第三中学校区・南中学校区)

高齢者や障がい者、ひとり親家庭など、何らかの支援を必要とする人への個別相談活動を通して、必要なサービスや制度を紹介し利用を促し、支援に関わる団体や関係機関と連絡、調整を行い、ネットワークづくりを推進した。

### (1) 個別相談活動 (延べ人数)

(単位：人)

相談対象者	狭山中学校区	第三中学校区	南中学校区	合計
高齢者に関すること	226	418	810	1,454
・(うち)ひとり暮らし高齢者	(121)	(345)	(542)	(1,008)
・(うち)高齢者のみの世帯	(31)	(66)	(150)	(247)
・(うち)上記以外	(74)	(7)	(118)	(199)
障がい者に関すること	527	24	93	644
・(うち)身体障がい者	(50)	(0)	(2)	(52)
・(うち)知的障がい者	(0)	(0)	(0)	(0)
・(うち)精神障がい者	(477)	(24)	(91)	(592)
その他	1,188	465	143	1,796
計	1,941	907	1,046人	3,894

※(前年度) 3,003人

(単位：件)

相談内容	狭山中学校区	第三中学校区	南中学校区	合計
福祉制度・サービスに関すること	1,021	515	820	2,356
生活に関すること	1,091	622	841	2,554
健康・医療に関すること	1,056	277	777	2,110
生活費に関すること	24	383	155	562
就労に関すること	77	19	214	310
その他	611	348	780	1,739
計	3,880	2,164	3,587	9,631

※(前年度) 6,349件

### (2) 個別相談以外の活動

(単位：件・回)

活動内容	狭山中学校区	第三中学校区	南中学校区	合計
開発した新たなサービス	2	4	2	8
既存の公的サービス等への紹介	14	12	5	31
ケース会議	55	41	77	173
研修会参加	7	6	2	15
計	78	63	86	227

※(前年度) 222件(回)

## 【6】生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター）

生活支援・介護予防サービスの創出に向けて、資源開発や関係者のネットワークの構築に向けたコーディネートを行い、地縁組織等の多様な主体への協力を働きかけ、定期的な情報共有を図る協議体において連携、協働による取組みを推進した。

### （1）会議関係

- ・大阪狭山市との会議に参加
- ・地域で生活支援を検討する会議に参加
- ・モデル実施する「地域の話し合いの場」に参加
- ・自立支援型地域ケア会議に参加
- ・その他、各関係会議に参加

### （2）ネットワーク機能の構築

- ・大阪狭山市介護予防・日常生活支援総合事業に係る地域づくり協議体への運営支援

会議	開催日	会議内容
第1回	令和5年 9月8日(金)	地域資源マップについて、現在の参画団体の活動及び取組の発表、いきがい・助け合いオンラインフェスタ2023について、その他
第2回	令和5年 12月15日(金)	いきがい・助け合いオンラインフェスタ2023について、現在の参画団体の活動及び取組の発表、その他

- ・各種ネットワークづくり

### （3）調査・研究

- ・小地域ネットワーク活動、コミュニティカフェ、認知症カフェ等について情報収集

### （4）資源開発

- ・地域ケア会議、地域福祉活動計画、地区福祉委員会における課題の把握
- ・買い物ツアーのコーディネート
- ・協議体で発行する大阪狭山市地域資源マップ「安心・安全！！高齢者お役立ちガイド」の作成協力

### （5）啓発

- ・サロン活動等の地域の集まりにおいて、事業の説明や啓発

### （6）研修関係

- ・地域づくり協議体参画団体向け研修会／「いきがい・助け合いオンラインフェスタ2023」へのオンライン視聴
- ・各種研修会（オンライン参加を含む）への参加

## 【7】重層的支援体制整備事業

相談者の属性、世代、相談内容に関わらず、課題が複雑、複合化しているなかで、関係機関がともに受け止め、協働して適切な支援につなげる体制の構築を行った。

### (1) 多機関協働事業

複雑化、複合化した事例の調整を行い、支援関係機関の役割分担や支援の方向性を定めるとともに、チーム支援のためのネットワークづくりを行った。

#### ① 支援会議（ケース検討支援会議）

出席者：自治会、訪問看護事業所、相談支援事業所、障害児通所事業所、支援学校、医療機関、地域包括支援センター、基幹相談支援センター、コミュニティソーシャルワーカー  
(単位：回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実施回数	1	1	1	1	2	1
前年度	1	2	3	1	2	4

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施回数	1	2	0	0	0	1	11
前年度	1	0	2	2	2	2	22

#### ② 地域、社会資源への働きかけ

警察署、公民館、コンビニ、スーパー、自治会、地区福祉委員会、当事者家族の会等との連携を図った。

### (2) アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

必要な支援が届いていない人に支援を届け、継続的な関わりを持つため本人と直接対面し、信頼関係の構築を図り、支援の経過を確認しつつ、フォローアップを行った。

#### ○ 相談対象者

(単位：人)

区分	人数	前年度
高齢者	18	39
障がい者	30	47
生活困窮者	10	4
子育て中の親子	11	—
計	69	90

## ○対応ケースの主たる内容

(単位：件)

区 分	件数	前年度
病気・けが	21	63
障がい	13	51
メンタルヘルス	35	59
経済的困窮	10	4
就労の問題	20	28
家族関係	40	27
社会的孤立	17	15
介護	12	23
ドメスティックバイオレンス	3	16
その他	60	46
計	231	332

## ○自宅等への訪問

(単位：件)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
実施回数(回)	2	2	4	2	1	2
前年度	3	8	5	3	3	3

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
実施回数(回)	6	2	1	1	1	0	24
前年度	2	1	3	2	2	1	36

## (3) 参加支援事業

利用者のニーズや課題などを把握し、本人と支援メニューのマッチングや本人の状態や希望に沿った支援が実施できているかなどフォローアップを行った。

## ○就労への支援、フォローアップ、協力要請など (単位：件)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
実施回数(回)	1	1	1	0	0	0
前年度	0	1	0	0	0	1

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
実施回数(回)	0	0	0	0	0	0	3
前年度	0	0	1	0	0	2	5

#### (4) その他

##### ○各種研修会への参加

- ・『トラウマを抱える相談者』という視点  
～トラウマインフォームドケアを学ぶ～  
日時：令和5年 6月19日(月)
- ・令和5年度ヤングケアラー支援研修  
～子どもたちとの関わりと気づき～  
日時：令和5年 7月18日(火)
- ・令和5年度 依存症支援関係者地域交流会（OACミニフォーラム）  
～依存症の理解と支援のポイント、ご本人・ご家族による体験談～  
日時：令和5年11月 7日(火)
- ・包括的な支援体制への意見交換会（重層事業実施市町村向け）  
日時：令和5年12月14日(木)  
令和6年 2月20日(火)
- ・支援者向け成年後見制度利用促進研修会  
日時：令和6年 3月19日(火)

### 【8】福祉センター事業（指定管理者）

高齢者、障がい者が安心して利用することのできる、地域に開かれた施設を目指して、施設の環境整備と各事業の充実に取り組んだ。

特に、利用者の健康や生きがいへの思いを理解し、いきいきと過ごせる時間、居場所づくりを大切に考えたサービスを行うよう心がけた。

老人福祉センターでは、祝日を除く第4・5日曜日、第2・4土曜日を開館する他、公衆Wi-Fiスポットの利用を進めるなど、利用者の利便性、満足度の向上に努めるとともに、玄関に地域活動支援センター利用者の皆さんの協力を得て、季節ごとのディスプレイを製作し設置するほか、環境にも配慮しグリーンカーテンを設置した。

施設の管理においては、大阪狭山市エコアクション21を引き続き推進し、利用者に節電、節水などの啓発を行い、環境に配慮した施設運営を行った。

#### (1) 大阪狭山市立老人福祉センター「さやま荘」

利用者の皆さんがより利用しやすく、安心して充実した時間を過ごすことのできる施設を目指し、適切な施設管理を行うとともに様々な事業に取り組んだ。

前年度に引きつづき、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来館時には検温・記名してもらい、大浴場においては予約制により対応していたが、令和6年2月より来館時は従来通りの利用方法に戻し、入浴時の予約も不要として随時利用出来るようにした。それに伴い、コロナ禍以前に実施していた『ふろの日』（毎月26日は入浴料が無料のイベント）も再開した。

①利用状況 (単位：人)

区 分		人数	前年度
個 人	男 性	29,538	24,310
	女 性	22,795	18,166
団 体		6,293	5,007
計		58,626	47,483

②お風呂利用者数 (単位：人)

	人数	前年度
延 人 数	14,137	12,853

※新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため人数・時間制限を行い、実施した。(令和6年1月末まで)

③血圧測定利用者数 (単位：人)

区 分	人数	前年度
男 性	43	28
女 性	28	46
計	71	74

④さやま荘クラブの活動状況

[1]クラブ活動日程及び会員数 (単位：人)

クラブ名	活 動 日	会員数	クラブ名	活 動 日	会員数
俳 句	第1・3火曜日	8	カラオケ1	第2・4木曜日	25
手 芸	第1~3月曜日	17	カラオケ2	第1・3木曜日	22
茶 道	第1・3木曜日	7	カラオケ3	第2・4金曜日	23
園 芸	第2・4火曜日	8	パソコン	第1・3木曜日	10
新 操	第2・4月曜日	6	社交ダンス	第1~4月曜日	11
書 道	第2・4火曜日	14	フラダンス	第2・4水曜日	14
マジック	第1・3月曜日	8	英 会 話	第1~4金曜日	19
麻 雀	休館日を除く毎日	61	和 太 鼓	第1・3土曜日	12
太極拳	第2・4水曜日	10	卓 球	月・水・金曜日	56
将 棋	休館日を除く毎日	28	健康体操	第1・3月曜日	12
囲 碁	休館日を除く毎日	36	気功体操	第2・4月曜日	35
バンパー	休館日を除く毎日	32	ゲートボール	火・木・土曜日	7
計				24クラブ	481

※(前年度) 25クラブ 509人

[2]年間参加者数 (単位：人)

	人数	前年度
延 人 数	5,302	6,903

⑤風呂の日

毎月26日を「風呂の日」と定め、入浴料を無料としていた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一時期実施しなかったが、令和6年2月から再開した。

⑥映画会 [毎月 第1水曜日]

(単位：人)

区 分	人数	前年度
参加者数	219	131

⑦青春の思い出を歌う会 [偶数月 第1日曜日]

(単位：人)

区 分	人数	前年度
参加者数	280	152

⑧落語会 [年3回]

(単位：人)

区 分	人数	前年度
参加者数	57	28

⑨エンジョイレク [月2回] 1グループ

(単位：人)

区 分	人数	前年度
延べ参加者数	138	258

⑩エンジョイプラス [月2回] 3グループ

(単位：人)

区 分	人数	前年度
延べ参加者数	775	793

⑪エンジョイトレーニング [月2回] 2グループ  
(単位：人)

区 分	人数	前年度
延べ参加者数	233	264

⑫レッツリズムエクササイズ [月2回] 2グループ  
(単位：人)

区 分	人数	前年度
延べ参加者数	0	42

⑬その他の取り組み

[1]緑化活動の推進 (グリーンカーテンの設置・季節毎の草花の植栽)

※前年度も実施

[2]福祉センターだより 第13号の発行 (令和5年10月1日)

※(前年度) 1回発行

[3]さやま荘通信の発行

第 8号…令和5年 6月

第 9号…令和5年12月

第10号…令和6年 3月

※(前年度) 3回発行

[4]各種講座の開催

高齢者教養講座「フレイルの予防のための正しい知識を深める」

令和5年11月15日 10時30分～11時45分

参加人数 28名

[5]夏季期間中 (7～8月) における開館時間延長

実施期間：令和5年7月1日～8月31日

開館時間：午前9時00分～午後6時00分

※通常：午前9時00分～午後5時00分

[6]職場体験学習受け入れ

※今年度は希望が無かったため、受け入れ無し。

## [7]福祉センター見学会受け入れ

目的：市民団体などの福祉センター見学を受け入れ、施設の役割、目的、事業内容などについて説明を行った。

①実施日：令和5年6月1日(木)

場所：さやま荘

団体数：1団体（西小学校3年生）60名

②実施日：令和5年10月6日(金)

場所：さやま荘・さつき荘

団体数：1団体（第19期 まちづくり大学）11名

※(前年度) 2団体

## [8]さやま荘クラブ体験見学会の開催

目的：さやま荘クラブの活動を知ってもらい、クラブ活動の参加を促し、新たなさやま荘利用者を増やすことを目指す。

実施日：令和5年11月4日(土)～11月5日(日)

※はばたきフェスタにおいて同時開催

協力クラブ：8クラブ

## [9]アニバーサリーサービスの実施

健康と長寿を祝い、利用者の誕生日にプレゼント（一年毎に趣向を凝らして用意）を配布した。

(単位：人)

区分	人数	前年度
配布数	208	159

## [10]ロビーコンサートの実施

さやま荘のパブリックスペースであるロビーにて、来館者が気軽に楽しめるミニコンサートを実施した。

○クリスマスロビーコンサート(ハンドベル演奏)

実施日：令和5年12月22日(金)

参加者：43名

○ロビーコンサート(ダンス)

実施日：令和6年3月12日(火)

参加者：35名

## [11]公衆Wi-Fiスポットの利用促進

ロビー付近でWi-Fi対応の端末から、インターネットに接続できるように利便性の向上を図った。

## (2) 心身障害者福祉センター及び母子・父子福祉センター「さつき荘」

身体障害者福祉協議会や母子寡婦福祉会と連携し、クラブや会議で利用できるよう取り組んだ。

身体障がいのある方が集える場所づくりの支援として、身体障害者福祉協議会主催による「サロンさやま」を開催し、障がい者の交流の場づくりを行った。

①利用状況

(単位：人)

区 分		人数(団体)	前年度
心身障がい者	男	339	140
	女	909	308
母子		783	228
団体		8,756	2,927
計		10,787	3,603

②さつき荘クラブ活動状況

○クラブ活動日程及び会員数

(単位：人)

クラブ名	活動日	会員数	クラブ名	活動日	会員数
絵手紙	第3木曜日	9	カラオケ	第2・4・5木曜日	6
リズム体操	第1・2・3土曜日	22	書道	第2・4火曜日	6
			計	4クラブ	43

※(前年度) 4クラブ 39人

③ひとり親家庭相談(寡婦含む)

ひとり親家庭の生活・自立に関する相談や子どもの養育・教育に関する相談に応じ、必要な情報提供や適切な助言及び援助を行い、社会的・経済的に不安定なひとり親家庭の生活安定を図るための相談日を設けた。

相談日時：第一・三土曜日(開催延日数24日) 午前10時～12時  
 相談延件数：0件 ※(前年度) 延べ相談件数：0件

④心身障がい者相談

心身障がい者(児)の生活・医療に関する相談や、手帳の申請・変更のほか、年金・身上相談等の相談に応じ、必要な情報提供や適切な助言及び援助を行うための相談日を設けた。

相談日時：身体障がい者相談 第2金曜日 午後1時～4時  
 知的障がい者相談 第3土曜日 午後1時～2時  
 (開催延日数24日)

相談延件数：0件 ※(前年度) 延べ相談件数：0件

⑤身体障がい者サロン「サロンさやま」(奇数月第3土曜日)

身体障がいのある方のふれあい交流スペースとして、身体障害者福祉協議会主催の「サロンさやま」を実施した。

(単位：人)

	人数	前年度
参加者数	76	86

### (3) 障害者地域活動支援センター事業

知的障がいや身体障がいのある方の日中活動の場として、制作活動や創作活動、作業活動（プラスチック製品の袋詰め等）・カフェ活動・各種クラブ活動等を行い、心身ともに充実した時間が過ごせるように取り組んだ。

今年度は、新型コロナウイルスの感染対策をとりながら、できる限り多くの活動ができるよう分散して活動を行うなど、利用者が楽しめるよう事業に取り組んだ。

#### ①開所日数及び活動別利用者数（延べ人数）

（単位：人）

	日数	前年度
開所日数(日)	242	238

  

	人数	前年度
創作活動(貼り絵・園芸他)	1,644	1,627
制作活動(共同制作・押し絵他)	646	618
作業活動(製品組立他)	561	701
計	2,851	2,946

#### ②主な行事

行 事 名	実施日	実 施 内 容	参加者数
七夕まつり	7月7日	各部屋で笹などに飾り付け等	17名
夏祭り	8月4日	施設玄関・さやま荘大広間でパン取りゲーム、ポッチャ大会等の実施	22名
健康診断	9月28日	さやま荘で健康診断の実施	12名
ハロウィンおたのしみ会	10月27日	ハロウィン仮装大会等	14名
クリスマス会	12月15日	ハンドベル・ダンス、マジックショー観覧、茶話会	22名
新年会	1月19日	和太鼓クラブの演奏、南京玉すだれ(お多福会)、各部屋でゲーム等	21名
節分	2月2日	各部屋でまめまき等	15名
ひな祭り	3月1日	各部屋で施設内で茶話会	16名

③クラブ活動別参加者数（延べ人数）  
（単位：人）

	人数	前年度
パソコン	0	7
和太鼓	115	77
書道	68	45
陶芸	36	43
クッキング	0	6
計	219	178

(4) はばたきフェスタの開催

福祉センター（さやま荘、さつき荘、障害者地域活動支援センター）を利用する団体や利用者が、隣接する文化ゾーンの施設（公民館、図書館、保健センター、シルバー人材センター、市史編さん所）と協働し、日頃の活動成果を市民に発表するとともに、各関係機関・団体との交流を図った。

開催期間：令和5年11月4日（土）～11月5日（日）

来館者数：延べ 2,792人（前回 令和元年度 延べ5,467人）

内 容：

- オープニングセレモニー（4日）【さやま荘ロビー】
  - ・地域活動支援センターさつき和太鼓クラブ「ラッキーセブン」による 和太鼓演奏
- 演芸大会【大広間】
  - ・さやま荘クラブ、さつき荘クラブ、障害者地域活動支援センター、各福祉団体による発表
- 競技大会【各部屋】
  - ・囲碁 … さやま荘囲碁クラブ（4日）
- 展示会【各部屋】
  - ・書道、俳句、手芸 … さやま荘クラブ
  - ・絵手紙、書道 … さつき荘クラブ
  - ・作品展（書道、陶芸など） … 障害者地域活動支援センター
  - ・自助具の展示 … 自助具の工房さやま（4日）
  - ・茶道具の展示 … さやま荘茶道クラブ（4日）
- 模擬店【さつき荘、障害者地域活動支援センター、屋外】
  - ・雑貨 … 障害者地域活動支援センター
  - ・フランクフルト … 知的障がい児(者)あんずの会（5日）
  - ・おにぎり、お茶 … 民生委員・児童委員協議会
  - ・スーパーボールすくい、輪投げ、フライドポテト … ボランティアグループ連絡会
  - ・バザー … さやま荘クラブ委員会
  - ・たこせん、ポップコーン … 社会福祉協議会職員厚生会
  - ・リサイクル古着、雑貨 … ワークおもちゃ館狭山
  - ・やきとり、自主製品 … おーじー作業所・ライマン（4日）
  - ・フランクフルト、ジュース … たんぼぼの丘（4日）
  - ・メダカ、カブトムシ、自主製品 … サニーサイド作業所（4日）
  - ・焙煎コーヒー豆、コーヒー … シマノ
  - ・手作りパン、焼き菓子、雑貨 … のんのん（4日）

- 体験コーナー・講座【ロビー・各部屋・ちびっこ広場】
  - ・バンパープール体験 … さやま荘バンパークラブ
  - ・囲碁体験 … さやま荘囲碁クラブ（5日）
  - ・将棋体験 … さやま荘将棋クラブ（5日）
  - ・麻雀体験 … さやま荘健康麻雀クラブ
  - ・スマホ講座 … さやま荘パソコンクラブ
  - ・ゲートボール体験 … さやま荘ゲートボールクラブ（4日）
  - ・スプレーアート体験、コラージュ体験  
… 地域活動支援センター（5日）
  - ・竹馬体験 … 老人クラブ連合会（4日）
- 喫茶、ボランティア紹介パネル展示【サロン室】
  - … ボランティアグループ連絡会
- 共同募金運動の啓発活動【屋外】 … 大阪狭山地区募金会
- 活動相談、会員募集【ロビー】 … シルバー人材センター

## 【9】地域包括支援センター事業

### （1）総合相談支援

本人、家族、近隣の住民、地域のネットワーク等から相談を受け、情報提供、関係機関の紹介等を行うほか、相談内容によっては、本人や家族、関係者に状況把握を行い、専門的・継続的な関与や緊急の対応も行った。

「介護なんでも電話相談」を月曜から金曜（9時～17時30分）に実施した。

#### ①相談件数

（単位：件）

区 分	拠点	初回	継続	計		前年度	
				拠点計	全体計	拠点計	全体計
来 所	南館	222	440	662	1,173	503	1,008
	サテライト	173	338	511		505	
出 張	南館	1	42	43	44	40	41
	サテライト	0	1	1		1	
訪 問	南館	17	562	579	784	597	857
	サテライト	8	197	205		260	
電 話	南館	515	4,512	5,027	6,866	4,433	7,160
	サテライト	60	1,779	1,839		2,727	
電 話 (介護なんでも相談)	南館	61	20	81	81	68	68
	サテライト	0	0	0		0	
電 話 (さやりんおれんじダイヤル)	南館	5	1	6	6	6	6
	サテライト	0	0	0		0	

文 書	南館	16	378	394	450	213	294
	サテライト	0	56	56		81	
その他（メール・FAX等）	南館	2	73	75	107	99	186
	サテライト	0	32	32		87	
計	南館	839	6,028	6,867	9,511	5,959	9,620
	サテライト	241	2,403	2,644		3,661	

## ②相談者の区分

（単位：件）

区 分	拠点	初回	継続	計		前年度	
				拠点計	全体計	拠点計	全体計
本 人	南館	145	1,314	1,459	2,140	1,144	1,876
	サテライト	99	582	681		732	
家 族	南館	293	1,096	1,389	1,981	1,367	2,310
	サテライト	93	499	592		943	
介護支援専門員	南館	214	1,335	1,549	1,964	1,248	1,877
	サテライト	15	400	415		629	
介護サービス事業所職員	南館	13	379	392	574	362	546
	サテライト	0	182	182		184	
行政関係者	南館	57	880	937	1,164	815	1,181
	サテライト	8	219	227		366	
医療機関	南館	51	379	430	571	397	614
	サテライト	7	134	141		217	
関係機関	南館	43	537	580	847	513	908
	サテライト	3	264	267		395	
認知症疾患医療センター	南館	0	0	0	0	0	0
	サテライト	0	0	0		0	
民生委員	南館	7	40	47	131	35	171
	サテライト	10	74	84		136	
近隣・知人	南館	16	57	73	127	68	124
	サテライト	6	48	54		56	
後見人	南館	0	0	0	0	0	1
	サテライト	0	0	0		1	
その他	南館	0	11	11	12	10	12
	サテライト	0	1	1		2	
計	南館	839	6,028	6,867	9,511	5,959	9,620
	サテライト	241	2,403	2,644		3,661	

③相談内容(延べ数)

(単位：件)

区 分	拠点	初回	継続	計		前年度	
				拠点計	全体計	拠点計	全体計
介護相談 (介護方法等)	南館	91	698	789	831	538	656
	サテライト	10	32	42		118	
介護保険サービス	南館	678	4,237	4,915	6,702	3,885	6,165
	サテライト	201	1,586	1,787		2,280	
介護保険の地域支援事業	南館	4	38	42	45	15	21
	サテライト	1	2	3		6	
その他 保健・医療・福祉サービス	南館	30	440	470	745	540	1,169
	サテライト	15	260	275		629	
インフォーマルサービス	南館	82	1,068	1,150	1,694	1,415	2,373
	サテライト	32	512	544		958	
認知症予防	南館	7	24	31	86	40	165
	サテライト	5	50	55		125	
認知症(対応、治療)	南館	15	90	105	288	181	617
	サテライト	7	176	183		436	
ケアマネジメント等	南館	6	210	216	426	174	570
	サテライト	0	210	210		396	
虐待・権利擁護	南館	16	148	164	255	329	429
	サテライト	3	88	91		100	
生活上の相談	南館	0	4	4	5	0	0
	サテライト	0	1	1		0	
その他	南館	0	0	0	0	0	0
	サテライト	0	0	0		0	
認知症地域支援 推進員活動	南館	5	50	55	55	20	171
	サテライト	0	0	0		151	
認知症初期集中支援事業	南館	1	97	98	105	67	67
	サテライト	0	7	7		0	
計	南館	935	7,104	8,039	11,237	7,204	12,403
	サテライト	274	2,924	3,198		5,199	

## (2) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

関係機関（銀行、郵便局、警察、消防本部、保健所、リーガルサポート、弁護士会ひまわり、医療機関、地域のインフォーマルサービス（スーパー等）との連携体制づくりや介護支援専門員に対する支援を行った。  
 (主な内容)

- ①地域ケア会議(自立支援型)の開催
- ②介護保険事業所連絡会のケアマネ部会の事務局運営
- ③市内のケアマネ事業所に情報提供や研修の実施
- ④ケアマネジャーへの個別指導や相談対応
- ⑤提供票交換会の開催
- ⑥介護保険事業所や施設の情報の配信

(単位：件)

区 分		計			前年度		
		南館	サテライト	全体計	南館	サテライト	全体計
支 援 数		372	210	582	366	396	762
内 訳	体制構築	156	0	156	192	0	192
	個別支援	216	210	426	174	396	570

## (3) 権利擁護

認知症等で金銭的な管理等が困難な高齢者に対し、成年後見制度や日常生活自立支援事業等の活用の支援を行うと共に、市役所南館内の基幹相談支援センター、権利擁護センターと共催で、専門職のための利用促進に向けた研修を行った。

ホームページや高齢者虐待防止パンフレット、出前講座を通じ、虐待についての認識を高めると共に、虐待事例を把握した場合は、市と連携を図り対応した。

そのほか、消費者被害や詐欺の予防のために、地域や介護関係者に必要な情報提供を行った。

### ①対応件数

(単位：件)

区 分	拠点	計	前年度
ケース数	南館	54(16)	86(18)
	サテライト	19(3)	24(9)
対応延べ件数	南館	162	329
	サテライト	91	100

※( ) は、新規ケース数(内数)

②対応ケースの主たる内容

(単位：件)

区 分		拠点	計	前年度	
虐待	身体的虐待	南館	28(8)	33(5)	
		サテライト	0(0)	0(0)	
	経済的虐待	南館	0(0)	0(0)	
		サテライト	0(0)	0(0)	
	心理的虐待	南館	0(0)	7(0)	
		サテライト	0(0)	6(1)	
	性的虐待	南館	0(0)	0(0)	
		サテライト	0(0)	0(0)	
	介護放棄	南館	3(2)	1(0)	
		サテライト	0(0)	0(0)	
	成年後見制度		南館	23(6)	38(10)
			サテライト	19(3)	17(7)
日常生活自立支援事業		南館	0(0)	5(1)	
		サテライト	0(0)	0(0)	
消費者被害		南館	0(0)	2(1)	
		サテライト	0(0)	1(1)	

※( ) は、新規ケース数(内数)

(4) 介護予防ケアマネジメント

要支援1・2の認定を受けた予防給付対象者に対して介護予防支援を行い、基本チェックリストに該当し、かつ、訪問介護や通所介護を希望した、支援や介護が必要となる恐れのある事業対象者には、予防ケアマネジメントを行った。それぞれの支援については、地域包括支援センターだけでなく、居宅介護支援事業所にも委託を行った。

①介護予防給付

(単位：件)

		計	前年度
請求件数計		6,251	6,034
内訳	地域包括作成	2,074	1,881
	委託事業所作成	4,177	4,153

## ②介護予防ケアマネジメント(総合事業)

(単位：件)

		計	前年度
請求件数計		5,601 (845)	5,506 (1,017)
内訳	地域包括作成	2,568 (567)	2,532 (673)
	委託事業所作成	3,033 (278)	2,974 (344)

※ ( ) 内は総数中緩和型の件数

### (5) 会議関係

包括的・継続的ケアマネジメント支援を行うために、各種会議を開催すると共に、行政機関や関係機関が開催する会議に出席した。

区 分	計	前年度
開催回数(回)	147	166
参加人数(人)	1,371	1,786
参加事業所数	301事業所	244事業所

### (6) 普及・啓発活動

地域や関係団体、事業所に対して、地域包括支援センターや介護保険、介護予防、虐待、権利擁護の普及、啓発を行った。又、認知症の理解促進に向け、大人だけでなく小学生に対してもサポーター養成講座を実施。また、認知症ケアパスの更新版を発行した。

区 分	計	前年度
開催回数(団体)	13	27
参加人数(人)	923	897

### (7) その他

大阪府介護者(家族)の会に参加する他、介護者家族の会の後方支援を行った。その他、市民に対してアルツハイマー月間、詐欺被害、介護予防の啓発を行った。

区 分	計	前年度
開催回数(団体)	30	32
参加人数(人)	477	1,180

## (8) 認知症総合支援事業

### ①認知症地域支援・ケア向上事業

認知症の人やその家族を支援し、介護サービス及び地域の関係機関の連携を図るため認知症地域支援推進員を配置し、個別相談や周知活動を通じ、市内における認知症ケア体制の構築を図った。

#### ○個別相談（再掲）

内 容	計			前年度
	新規	継続	計	計
延べ相談者数(名)	5	2	7	11
延べ相談件数(件)	40	15	55	171

#### ○認知症カフェ（愛称 さやりん おれんじカフェ）開催支援

内 容：電話による実施状況の把握  
広報チラシの配布  
意見交換会の開催

#### ○認知症サポーター養成講座

（認知症安心声かけ訓練・認知症に関する講演含む）

対 象：地域住民、小学生・学校教員、病院・看護学校  
内 容：・認知症についての基礎知識、認知症の人・家族の気持ち  
・認知症の人への接し方など

開催回数：延べ6回 ※(前年度)開催回数：延べ6回

参加者：延べ249人 ※(前年度)参加者：延べ324人

#### ○認知症啓発事業

・アルツハイマー月間啓発

市役所(9月1日から30日)、図書館(9月1日から30日)で  
展示、チラシ配布。

老人福祉センターでは、展示、チラシ配布のほか、認知症サポーター養成講座(参加者12名)と個別相談会(9月21日 相談17件、22日 相談17件)も実施。

#### ○おれんじパートナー事業

おれんじパートナー活躍の場の整備として、チームオレンジに関する取り組みについて協議を行った。

#### ○認知症ケアパス配布

認知症の症状の進行に応じて、いつ、どこで、どのような医療や介護サービスなどが利用できるのかまとめた冊子「認知症ケアパス」の改訂をした。

## ②認知症初期集中支援事業

認知症の人やその家族からの相談を受け、認知症サポート医と連携を図り、認知症の早期診断、早期対応に向けた支援を行った。

	今年度	前年度
初回相談件数（件）	1	1
支援対象者数（名）	2	1
チーム員会議数（回）	3	1

## 【10】障がい者基幹相談支援センター事業

障がいの種別を問わず、障がい者や家族等からの相談に応じるとともに、基幹相談として地域における総合的かつ専門的な相談支援の中核的な役割を担った。

地域自立支援協議会定例会ではライフステージにおいての必要なサービスについてをテーマに教職員と合同での研修会を実施した。また、こどもむすぶ会でも他機関連携を目的に、市内教職員との合同意見交換会を実施し、地域自立支援協議会以外の機関との連携強化を行った。

また、障がい者の声が反映される地域自立支援協議会を目指し、前年度同様に全体会において、当事者団体による基調講演の機会を設けた。

### ○障がい者相談支援事業

#### ①利用者数

(単位：人)

区 分			計	前年度
障がい者			135	121
障がい児			60	56
計			195	177
障がい区分 (再掲)	身体障がい	障がい者	10	10
		障がい児	1	1
	重症心身障がい	障がい者	0	0
		障がい児	5	3
	知的障がい	障がい者	39	25
		障がい児	10	13
	精神障がい	障がい者	52	45
		障がい児	0	0
障がい区分 (再掲)	発達障がい	障がい者	7	9
		障がい児	5	7
	高次脳機能障がい	障がい者	1	2
		障がい児	0	0
	その他	障がい者	26	30
		障がい児	39	32

②支援方法 (単位：件)

区 分	計	前年度
訪 問	508	388
来 所	228	193
同 行	163	109
電話等	1,338	1,408
個別支援会議	34	14
関係機関	16	25
その他	5	25
計	2,292	2,162

③支援内容 (単位：件)

区 分	計	前年度
福祉サービスの利用等	733	888
障がいや病状の理解	413	66
健康・医療	320	291
不安の解消・情緒安定	481	612
保育・教育	25	24
家族関係・人間関係等	25	43
家計・経済	26	49
生活技術	32	24
就労	60	130
社会参加・余暇活動	2	10
権利擁護	15	9
その他	160	16
計	2,292	2,162

④会議

○地域自立支援協議会全体会 ※(前年度) 22名

実施日：令和5年5月23日(火) 参加者：34人

場 所：市役所 3階 第一会議室

内 容：

1. 大阪狭山市地域自立支援協議会体系図について
2. 令和4年度大阪狭山市地域自立支援協議会開催報告について
3. 専門部会令和4年度の取組み報告及び令和5年度取組み案について
4. 脳卒中の後遺症をもつ方による基調講演  
「ほっこり仲間の会」(脳卒中の後遺症をもつ方の交流会)  
講師：岸上 啓子 氏・辻 敦子 氏

○地域自立支援協議会定例会 ※（前年度）4回 延べ参加者：55人

<第1回>

実施日：令和5年4月18日（火） 参加者：13人

場 所：市役所 2階 防災対策室

内 容：

1. 令和4年度大阪狭山市地域自立支援協議会の取組み報告
2. 令和5年度大阪狭山市地域自立支援協議会の取組み案

<第2回>

実施日：令和5年7月18日（火） 参加者：10人

場 所：市役所 別館 第4会議室

内 容：

1. 令和5年度 全体会の報告
2. 専門部会・進捗状況の報告
3. 次回定例会時の研修について
4. その他情報提供

<第3回>

実施日：令和5年10月18日（水） 参加者：13人

場 所：市役所別館 1階 第4会議室

内 容：

1. 専門部会・進捗状況の報告
2. その他情報提供
3. 教育機関との合同研修

「成人期の今、ライフステージに応じて、あって良かった支援」

講 師：野村 路代 氏

参加者：42人(教育関係/福祉関係29人/自立支援協議会13人)

<第4回>

実施日：令和6年1月23日（火） 参加者：13人

場 所：市役所別館 2階 作業室

内 容：

1. 専門部会・進捗状況の報告
2. その他検討課題、情報提供について
3. グループワーク（令和6年度のテーマについて）
4. その他情報提供

○地域自立支援協議会部会

<相談支援部会> 6回開催 ※（前年度）6回開催

実施日：令和5年 5月19日（金）、7月21日（金）

9月15日（金）、11月17日（金）

令和6年 1月19日（金）、3月15日（金）

<地域包括ケアシステム部会> 6回開催 ※（前年度）6回開催

実施日：令和5年 4月24日（月）、6月26日（月）

8月28日（月）、10月23日（月）

12月25日（月）

令和6年 2月26日（月）

<こどもむすぶ会> 6回開催 ※(前年度)5回開催  
 実施日：令和5年 5月24日(水)、7月12日(水)  
 9月27日(水)、11月24日(金)  
 令和6年 1月24日(水)、3月13日(水)

<日中活動事業所部会> 5回開催 ※(前年度)5回開催  
 実施日：令和5年 5月25日(木)、7月27日(木)  
 9月28日(木)、11月30日(木)  
 令和6年 3月28日(木)

<就労支援部会> 5回開催 ※(前年度)4回開催  
 (南河内南就業・生活支援ネットワーク会議)  
 実施日：令和5年 6月28日(水)、8月23日(水)  
 10月25日(水)、12月20日(水)、  
 令和6年 3月13日(水)

<医療的ケア部会> 6回開催 ※(前年度)6回開催  
 (医療的ケア児者に対応した地域包括ケアシステム検討部会)  
 実施日：令和5年 4月20日(木)、6月15日(木)  
 8月17日(木)、10月19日(木)  
 12月21日(木)  
 令和6年 2月15日(木)

⑤その他部会活動

<事業所説明会> (日中活動事業所部会) 1回開催 ※(前年度)開催なし  
 実施日：令和5年10月17日(火)  
 場 所：大阪狭山市立コミュニティセンター 大会議室  
 内 容：各事業所の特徴や取り組みについての説明  
 来場者：8人

<研修会> (こどもむすぶ会)  
 実施日：令和5年 8月23日(水)  
 場 所：大阪狭山市コミュニティセンター 大会議室  
 内 容：大阪狭山市内教員との合同意見交換会  
 参加者：39人(教職員：24人 こどもむすぶ会：15人)

○指定特定相談支援事業

(単位：件)

区 分	計	前年度
新規契約者数	3	3
利用(計画作成)	37	30
継続(モニタリング)	54	48

○指定障害児相談支援事業

(単位：件)

区 分	計	前年度
新規契約者数	1	1
利用(計画作成)	10	13
継続(モニタリング)	19	18

○指定一般相談支援事業

(単位：件)

(単位：件)

地域移行支援	
区 分	年計
新規契約者数	0
地域移行支援利用	0

※前年度実績なし

地域定着支援	
区 分	年計
新規契約者数	0
地域定着支援利用	0

※前年度実績なし

【11】生活サポートセンター事業（生活困窮者自立支援事業）

生活に困りごとや不安を抱えている生活困窮者に対して、どのような支援が必要かを相談者と一緒に考え、具体的な支援プランを作成し、寄り添いながら自立に向けた支援を行った。

また、住居を喪失した方に一定期間、衣食住等の日常生活に必要な支援を提供する一時生活支援事業の利用に関する手続きの支援や、住居確保給付金の支給に関する相談支援を行った。

家計改善支援事業では、家計状況の「見える化」と根本的な課題を把握し、状況に応じた支援計画の作成、相談支援、関係機関へつなぐとともに、必要に応じて貸付のあっせん等を行い、早期の生活再生を支援した。

新型コロナウイルス感染症特例貸付を借り受けた世帯で、生活に困窮しており、支援が必要と考えられる世帯に対し、家計支援を通じた収支の安定や生活再建に向けた積極的な支援を行い、生活福祉資金担当者や関係機関と連携し継続的なフォローアップ支援を行った。

(1) 自立相談支援事業

(単位：件)

区 分	計	前年度
新規相談受付件数	120	129
プラン作成件数	41	43
就労支援対象者数	11	8
住居確保給付金利用数	0	8
住居確保給付金相談者数	29	32
一時生活支援事業利用数	1	2

## (2) 家計改善支援事業

(単位：件)

区 分	計	前年度
プラン作成件数	18	12

## (3) 支援調整会議

プラン案を共有した上で適切性を協議し、支援終結時にはプラン（支援）の評価を行った。

また、協議を通して、支援の質を高めるとともに、地域に不足する社会資源について把握し、社会資源の創出に向けた検討を行った。

(単位：件)

区 分	計	前年度
開催回数	13	14
案件数（評価ケース含）	41	54
決定・確認数	34	43

※開催回数のうち、1回は一時生活支援事業利用にかかる臨時開催を含む

## 【12】 就労準備支援センター事業（生活困窮者自立支援事業）

生活リズムが整っていない、また、他者とのコミュニケーションや社会との関わりに不安があり、経済的または社会的、その他の理由により、すぐには就労が難しい人を対象に「日常生活自立支援」、「社会生活自立支援」、「就労自立支援」を計画的かつ一貫して実施することにより、一般就労に従事する準備としての基礎能力の形成や技法、知識の習得等を促した。

また、生活サポートセンターや関係機関との連携強化を図った。

### ① 支援者数

(単位：人)

区 分	計	前年度
生活困窮者	49	54
生活保護受給者	17	15
計	66	69

### ② 支援プログラム

区 分	計	前年度
職業適性検査(GATB等) (回)	8	3
職業興味検査(VRT等) (回)	8	3
職場見学 (回)	0	0

就労体験	(回)	0	4
農業体験	(回)	0	0
ボランティア体験	(回)	0	0
ハローワーク等同行	(回)	0	0
他機関講座	(人)	54	33
パソコン講座	(人)	33	22
パソコン講座	(延べ回数)	143	145
求人検索	(人)	13	10
求人検索	(延べ回数)	36	46
応募書類作成	(回)	23	19
面接練習	(回)	4	5
面接同行	(回)	0	0
個別活動	(回)	132	23
定着・見守り支援	(回)	4	30
保護者対応(連絡)	(回)	0	0
保護者対応(面談)	(回)	3	0
居場所	(延べ人数)	71	37
その他		161	134

③就職・就労者数 (単位：人)

区 分	計	前年度
正規雇用	0	2
非正規雇用	2	2

④相談件数 (単位：人・件)

区 分	計	前年度
実人数	39	36
延べ件数	47	45

⑤就労体験受入事業所開拓数 (単位：件)

区 分	計	(前年度)
雇用あり	0	0
雇用なし	0	0

## ⑥その他の活動

(単位：人)

行 事 名	実施日	実 施 内 容	参加者数
居場所プロジェクト (15回)	金曜日	勉強会やセミナー、スキルアップのプログラム、交流会等を行った	(再掲) 30
居場所フリー (24回)	火曜日	自分のペースに合わせて過ごしたり、興味にあることに取り組んだ	(再掲) 41

## 4. その他

### 【1】地域ふくし協力金（社会福祉協議会会員会費）

社会福祉協議会会員会費を「地域ふくし協力金」として、地区福祉委員会の協力のもと自主財源の確保に努めた。

市民のみなさまから集められた「地域ふくし協力金」（社協会員会費）を貴重な自主財源として地域福祉事業に活用した。

なお、組織構成会員には、社会福祉に関する活動を行う団体、機関、事業者等に幅広く参画をいただき、その中から社会福祉協議会の議決機関である評議員を選出することにより、社会福祉協議会の運営に参画している。

	正 会 員	賛助会員	特別会員	組織構成会員	計
地 区	4,633人	57人	20人	——	4,710人
	4,633,000円	171,000円	100,000円	——	4,904,000円
その他	52人	13人	6人	17団体	71人・17団体
	52,000円	39,000円	30,000円	85,000円	206,000円
計	4,685人	70人	26人	17団体	4,781人・17団体
	4,685,000円	210,000円	130,000円	85,000円	5,110,000円

※(前年度) 5,013人・15団体…5,362,000円

(正 会 員…4,908人 4,908,000円、賛助会員 …73人 219,000円、特別会員… 32人 160,000円、組織構成会員…15団体 75,000円)

### 【2】善意銀行事業

市民のみなさまから寄せられた寄付金等を、預託者の意思を十分に配慮、尊重のうえ、社会福祉活動等に活用した。

#### (1) 啓発宣伝

「広報おおさかさやま」及び「大阪狭山市社協だより」に掲載

## (2) 現金の受入れ・払出し

(単位：円)

預託種別	繰越金	受入れ	払出し	差引残高
社会福祉	23,526,134	129,415	164,415	23,491,134
老人福祉	3,020,698	0	0	3,020,698
身障福祉	2,837,803	0	0	2,837,803
母子福祉	35,252	0	0	35,252
知的障がい福祉	1,258,433	35,000	0	1,293,433
精神障がい福祉	0	0	0	0
計	30,678,320	164,415	164,415	30,678,320

次年度繰越金 30,678,320 円

## 【3】大阪狭山市福祉基金

## (1) 運用状況

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
1. 福祉基金積立金	100,300,000	福祉基金原資
2. 収益	2,426,702	
①前年度繰越金	2,420,674	前年度よりの繰越金
②受取利息	6,028	5年度期中受取利息
3. 支出	6,028	
	6,028	小地域ネットワーク事業活動費
4. 繰越金(収益－支出)	2,420,674	次年度繰越金
計	102,720,674	

(2) 貸借対照表 (令和6年3月31日現在)

(単位：円)

借	方	貸	方
1. 預貯金		1. 福祉基金積立金	100,300,000
(郵便局)		2. 次年度繰越金(果実)	2,420,674
・通常貯金	371,071		
小計	371,071		
(大阪南農協)			
・普通貯金	32,349,603		
・定期貯金	10,000,000		
・定期貯金	10,000,000		
小計	52,349,603		
(りそな銀行)			
・普通預金	50,000,000		
小計	50,000,000		
計	102,720,674	計	102,720,674

【4】共同募金運動 (赤い羽根共同募金) 「大阪狭山地区募金会」

「じぶんの町を良くするしくみ」を全国スローガンとして、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けることができるよう地域福祉の一層の充実を図るため、10月1日から12月31日ま (全国一斉) まで「共同募金運動 (歳末たすけあい募金を含む)」を展開した。

(1) 会 議

- ①役員会
- ②監査
- ③共同募金事務説明会
- ④歳末たすけあい募金配分委員会

(2) 一般募金

各市町村の募金活動で集められた寄付金は、一旦、大阪府共同募金会に集められ、大阪府内の民間福祉施設、福祉団体や社会福祉協議会が行う事業に配分された。

本市においても、募金額の約60%が次年度に配分され、市内の高齢者福祉活動や福祉育成、援助活動など地域福祉活動の貴重な財源として活用した。

○実施期間：令和5年10月1日～11月30日

募金種別	戸別	法人	学校	職域	街頭
金額	1,677,390円	222,619円	142,619円	77,485円	601,735円
協力団体数	60地区	80法人	13校	6団体	190件
募金種別	バッジ	ネット	その他	合計	
金額	72,500円	5,900円	17,651円	2,817,899円	
協力団体数	---	---	---	349団体等	

※(前年度) 2,910,687円(364団体等)  
 (戸別…1,785,977円(59地区) 学校…155,690円(12校)  
 街頭…521,269円(189件) 法人…268,600円(98法人)  
 バッジ…74,000円 職域…88,524円(6団体)  
 その他…16,627円

### (3) 歳末たすけあい募金

募金活動で集まった寄付金は、大阪狭山地区募金会から、市内の地区福祉委員会や福祉施設及び各種団体が行う事業に配分した。

募金額の約25%を地区福祉委員会に、約75%は市内の福祉施設及び各種団体からの申請に基づき、歳末たすけあい募金配分委員会の承認の後、配分を行った。

○実施期間：令和5年12月1日～12月31日

募金種別	戸別	法人	職域・その他	計
金額	1,267,259円	95,300円	33,000円	1,395,563円
協力団体数	57地区	61法人	3件	121団体等

※(前年度) 1,511,284円(155団体等)  
 (戸別…1,342,880円(63地区) 法人…135,900円(88法人)  
 職域・その他…32,504円(4件))